平成２９年第５回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２９年第５回大仙市教育委員会定例会を平成２９年５月２６日（金）午後３時３０分から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴　木　直　樹
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
　　工　藤　浩　一

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
生涯学習部長	安　達　成　年
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	高　野　一　志
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	佐　藤　正　道
文化財保護課長	加　藤　　実
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	冨　樫　武　彦
総合市民会館参事	伊　藤　ひろみ
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館参事	森　　良　悦
中仙公民館長	榊　田　成　悦
協和公民館副主幹	髙　橋　優　子
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	髙　橋　明　子
太田公民館長	藤　澤　寿　史

書記

教育総務課参事　　田　口　広　龍

付議案件

議案第30号　平成２９年度大仙市一般会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について

議案第31号　平成２９年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成２９年第５回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって承認していただきました。

早速、教育長報告に入らせていただきます。

資料の１ページを御覧ください。

最初に学校教育関係ですが、今年もスポーツ・文化で活躍されている方々を招いてのこころのプロジェクト「夢の教室」が始まりました。５月は４日間にわたって、スポーツバージョンの講演などが行われました。今年はショートトラックのスケートやサッカー、マラソンで活躍された選手による教室が開催され、頭と体を使ったスポーツレクリエーションや夢を持ち続けることの大切さについての講話に、子供たちの目も輝いておりました。

研修関係では、５月１２日に３回目となる大仙市校種間連携懇談会が開かれました。今回は大曲保育会や大空大仙から理事長さんや園長さんが参加され、広域の連携に深まりがみられた会となりました。様々な形での連携を、今後も積極的に進めていっていただきたいと思います。次回は、県立大曲技術専門校や市外ではありますが、本市からの進学者も多い六郷高校と角館高校にも声をかけたいと思っております。

そして、お手元に配付しました資料ナンバー１及び私からの通信にありますように、５月１８日と１９日に奈良市で開催されました全国都市教育長協議会総会に出席させていただきました。文部科学省からの行政説明や各都市の様々な取組が発表されました。どれも参考になりましたが、いずれ、教育の業務改善や若年層教員のネットワークづくりを進めていきたいと思います。資料ナンバー１の裏面を御覧ください。文科省から教員の多忙化対策についてのお話がございました。資料の真ん中に「業務改善」とありますが、特にどちらも仮称ですが「業務アシスタント」と「部活動指導員の制度化・配置促進等」について考えているようなんですが、具体策はまだ見えてこない状況です。「部活動指導員」の内容については資料の表側にありますが、具体的手続や形態など細かなところはこれからといった感じです。

また、今年度の市ＰＴＡ連合会総会では、大曲西中学校ＰＴＡ会長であった山崎さんに替わり新たに仙北中学校ＰＴＡ会長の田村雅史さんが連合会会長に選出され、今年度の活動がいよいよスタートしております。今年度も、ＰＴＡ活動も含め、幼・小・中・高・特支との連携を一層充実させたいと思います。

県外視察等の受入状況ですが、台湾の台北市の小・中学校の科学の教員がお見えになり、本市の特に理科教育について視察されました。どの先生も本市の子供たちの発表力や授業の進め方などに感心しておられました。

社会教育及び文化財関係の主な行事は、資料のとおりであります。

社会体育関係では、今年度の国民体育大会東北ブロック大会、そして第４４回東北総合体育大会、いわゆるミニ国体のなぎなた競技が８月１９日と２０日、ここ大仙市の大曲体育館を会場に開催されます。そのための実行委員会が１６日に開かれました。なぎなた競技については、これまでも本市で東北大会等が開催されておりますが、そのノウハウを生

かしながら、少しでも多くの市民が会場に足を運んでくれますよう地元の盛り上がりを期待したいと思います。

また、５月３１日には今年度のチャレンジデーが開催されます。今年の対戦相手は鹿児島県霧島市と山梨県甲斐市で、この二つの市と大仙市による巴合戦となります。両市とも昨年の参加率が９０パーセント前後とかなりの強敵ですが、少しでも参加率が上がるよう学校や教育関係施設等を通じて呼び掛けてまいりたいと思います。

児童生徒の安全・安心面では直接的な事故等はございませんでしたが、既にお知らせいたしましたとおり西部学校給食センターの職員からノロウイルスが検出されたため、管内６校の学校給食を５月２５日、２６日の２日間停止いたしました。来週２９日月曜日からは再開いたします。御心配をおかけいたしました。

以上で私からの報告を終わります。

それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

教育総務課関係では、今回８項目掲載しております。ほとんどが定例的な会議、行事となっておりますけれども、５月２４日に大仙市奨学資金運営審議会が開催されました。今回、奨学金の申請が大学生１８人、高校生が４人と例年に比べ多くなっております。昨年は大学生７人、高校生２人ということで倍増ということでありますけれども、県が行っている助成制度などを紹介しておりますので、奨学金に対する関心が高まっていて、そうした要因もあるのかなと捉えております。以上であります。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課では、９項目示しております。私からは、情報モラルいじめ対策事業について御報告させていただきます。今年、スマホ、ケータイ、音楽端末等でＳＮＳなどに簡単にアクセスできることから、そういった機器の安全な使用法を早い段階から子供たちに教えていこうということで、５月２３日の東大曲小学校を皮切りに、今後、大曲小、大曲中、平和中において実施する予定です。

それから、昨年まで教育委員等訪問のときに実施しておりました事務指導訪問が５月２２日の大曲小学校を皮切りにスタートしております。以上です。

吉川教育長

教育委員会訪問の日程等は、後日、お知らせいたします。

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課は、１９項目を記載しております。出前民謡「大曲公演」ですけれども、関

係者を含めまして２００人の人出がありました。同じく仙北公演の方は、１２０人となっております。以上です。

吉川教育長
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課では８項目ございますけれども、このうち旧池田氏庭園一般公開についてであります。５月２０日から６月１１日までの期間で初夏の一般公開中でありまして、今、正に白つつじが満開となり見頃を迎えているところであります。６月に入りますと、第１週目と２週目の金土日に観光部署と連携いたしまして、週末限定のライトアップを実施いたします。さらに、６月１０日土曜日ですけれども、「初夏のファンタジーナイト」と題しまして、ライトアップの時間帯にトランペットの生演奏や冷酒その他の出店等を企画しております。是非、この機会に御覧いただければ幸いでございます。
　それから、先ほど３０分ぐらい前になりますが、角間川の本郷住宅について所有権移転の調印を無事済ませました。晴れて市の所有になったということで、早速チラシを配らせていただきました。国登録有形文化財ということで、１０月には特別公開を実施したいと思っております。これに向けて加速していきたいと思います。以上であります。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　スポーツ振興課は、６項目掲載しております。５月１８日に行われましたスポーツ合宿事業推進委員会についてですが、今年もサマーキャンプをはじめ各種合宿が行われます。例年どおり大学、高校の硬式野球部の合宿に加え、集団行動で有名な日本体育大学が８月２７日から１週間程合宿を行います。期間中、市内の小学生に集団行動の指導をしますし、観覧も自由ですので、是非御覧いただきたいと思います。
　次に、５月３１日のチャレンジデー２０１７でございますが、先ほど教育長からもありましたように、今年は鹿児島県霧島市、山梨県甲斐市ということで三つ巴戦ですが、両市とも昨年９０パーセント前後の実績ということで、正直、本市は今年９０パーセントに達するとは思っておりません。しかし、昨年の５６パーセントから一気に７０パーセント以上を目標に事業展開していきたいと思っております。来週の水曜日でございます。委員の皆様からも、各地域、団体に働きかけていただければ非常に有り難いと思います。よろしくお願い申し上げます。以上です。

吉川教育長
　大変強敵ではありますが、少しでも報いたいなと思います。
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターでは、９項目掲載しております。本日の県民防災の日に合わせた防災給食についてです。大曲南外地域の１３の小中学校に救給カレーを提供しております。今日の防災給食を大曲小６年梅組が食べている様子を夕方６時３０分のＮＨＫニュースこまちで放映される予定ですので、御覧いただければと思います。
　なお、昨日、神岡、西仙、協和地域の小中学校へも学校給食停止に伴う代替食として救給カレーを提供しております。以上です。

吉川教育長
　今回、職員からノロウイルスが検出されたということで、学校給食を停止したわけですが、現在の状況を報告してください。

学校給食総合センター所長
　大変御心配をおかけしております。昨日、西部学校給食センター職員全員の検査結果が出まして、二人が陽性となっております。学校給食停止期間中に陰性の職員によるセンター内の消毒を行っております。今朝の段階で陰性の２３人の健康状態を確認したところ、大丈夫なようです。
　今後についてですが、明日、あさっての健康状態を注視しながら、もし、最悪、陽性反応が出れば２９日も停止という措置をとります。以上です。

吉川教育長
　いずれ、子供たちは４８時間経過しておりますので、発症した子供はおりません。それが幸いでございます。今後、何か職員に体調不良があれば、適切に対処していきたいと思います。今のところ、大丈夫なようです。
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、７項目挙げさせていただいております。５月１２日に図書館ボランティア総会が行われました。また、恒例のブックスタート事業が５月１９日から御覧の日程で始まっております。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館参事
　総合市民会館では、２項目となっております。５月９日に秋田おばこ節全国大会ののぼり旗の旗立てと歌う順番の抽選会を行っております。また、５月１４日に大仙市民賞受賞記念コンサートといたしまして、小松英典氏のコンサートを大仙市と小松英典ファンの集いとの共催事業として行っており、約５００人のお客様が集まり楽しんでいただきました。以上です。

吉川教育長
　私もこのコンサートに招待を受けて観覧させていただきましたが、２階席までお客さんがいらっしゃいました。盛況だったと思います。
　次に、花館公民館長、お願いいたします。

花館公民館長
　花館公民館は、１３項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、１０項目記載しておりますが、記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館参事
　西仙北中央公民館は、１１項目掲載しております。このうち、寿楽大学について御説明いたします。５月１７日に寿楽大学の開講式を開催しております。今年度は受講者９６人で、昨年度より４人程増えております。講座につきましては、昨年度同様７講座です。この後、１１月１５日の閉講式まで７回講座を開催する予定です。今回の開講式では大仙市在住の佐藤貞勝さんをお迎えいたしまして、ギターの弾き語りを交えた「トーク＆ライブ」を実施しております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、１０項目挙げさせていただきました。このうち、５月２５日のラジオ体操第３推進講習会についてでございます。今年度においては、指導者の要請を受けまして地域への普及を目指していきたいと思います。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館副主幹
　協和公民館は、１３項目記載させていただきました。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館ですけれども、記載のとおり５月も先月同様各団体の総会等が多くなっておりますが、この中で５月２８日のなんがい青空市について簡単に御説明申し上げます。この事業は、支所の地域活性化推進室が中心となって実行委員会を組織して今年度から行うものです。地域活性化推進室の併任辞令を館長と職員１人が受けておりますので、今回、報告させていただきます。この事業の内容といたしましては、今月から１０月までの毎月第４日曜日の午前中に開催することになっております。今週の月曜日２８日は、第１回目ということで、オープンニングセレモニーには迫力のある消防太鼓もお願いしておりますし、また、出来たての蕎麦も提供します。今月は季節柄、南外のおいしい山菜もたくさん並べられることと思いますので、時間がある方は是非覗いていただければ有り難く思います。午前８時３０分のオープンですので、よろしくお願いいたします。以上です。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館では、８項目挙げさせていただいております。このうち、５月２０日の書道教室開講式でありますが、昭和の時代から３０年以上続いております子ども書道教室でありまして、今年度も定員いっぱいの４０人の児童が集まり竹村天祐先生の指導の下、開講することができました。以上であります。

吉川教育長
　次に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は１０項目記載しておりますが、記載のとおりでございます。以上でございます。

吉川教育長
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員
　一つよろしいでしょうか。先ほど、西仙北中央公民館の報告の中で寿楽大学ということで７講座を行うということでしたが、これは高齢者向けの生涯学習ということでやっているんだと思いますけれども、例えば全市単位で市のどこかで開催するとか、あるいは全て

の公民館で大体こういう形で行っているということでしょうか。西仙北だけではないだろうなとは思ってるんですが。

生涯学習部長
　私の方からお答えさせていただきます。それぞれの公民館で講座名は異なるんですが、高齢者を対象とした講座を持っております。そのうち、西仙北中央公民館の場合は年間を通した講座で、寿楽大学という講座名になっております。公民館によっては、散発的あるいは単発的に講座を設けているところがございます。

吉川教育長
　ちなみに、通年でやっているところは大曲の「高齢者大学」、それから神岡の「嶽雄大学」ですか。それから、西仙北の「寿楽大学」、協和の「仙人大学」もですね。中仙はどうですか。

中仙公民館長
　「ドンパル講座」ということで開催しております。

吉川教育長
　南外はどうですか。

南外公民館長
　年間３回ぐらい「高齢者勉強会」と称して行っております。

吉川教育長
　これは散発で行っているということですね。仙北公民館ではどうですか。

仙北公民館長
　仙北公民館では、年数回にわたって「暮らしの達人講座」という講座を設けております。

吉川教育長
　それぞれの公民館で行われているようです。したがって、大仙市全体でということではないようです。

伊藤委員
　全体でというと難しいわけですね。

吉川教育長
　９０歳近い方もいらっしゃいますしね。

伊藤委員

おそらく、これはインターネットを開くと同じようなモデルになるようなものがあると思うんですが、何か利用されているといったことはありませんか。

生涯学習部長
講師に来ていただいて講座を行っております。インターネットを利用したことはないと思います。

伊藤委員
例えば、インターネットを利用して制作されたドラマ風のものを見せたりとか、あるいは制作しているところを見せたりとかしているものでしょうか。

生涯学習部長
例えば、ＣＤを使ったりということはありますけれども、ＮＨＫ大学のようなインターネットを使ってということはないです。

伊藤委員
ＮＨＫではこうした高齢者向けの番組といったものはあるんでしょうか。、

生涯学習部長
はい、あります。今後、西部、東部、大曲といった単位でまとまってやれないかといったことを、昨年度から検討しているところです。

吉川教育長
それぞれ特色ある講座を設けておりますので、各講座の情報を共有して、移動手段の問題はあるにしても車で移動できる方は、例えば、大曲から協和の仙人大学に行きたいという方がいれば、調整できるところはしているという状況です。

伊藤委員
今、要介護でない要支援の状態の人については、介護保険を使わない方向になってきているんです。介護保険の部署と連携して一緒にということには、まだ、なっていませんか。

生涯学習部長
まだ、なっていません。介護の方も総合的なもので今年スタートしたばかりですので、いずれは介護の方とも話し合いをしていかなければという思いはあります。

吉川教育長
伊藤委員、よろしいでしょうか。

伊藤委員
はい、分かりました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

鈴木委員
　今朝、新聞を読んでいましたら、小学校の英語の授業時間の確保が困難で、何か既存の授業の中に組み込んで、何とかしていくというようなことを書いていました。なかなか学校現場も大変だなと、教えなければならないことがいっぱいあって、その中でやりくりしていかなければならないんだなと思ったんですが、もし、良ければ大仙市の状況を教えてください。

教育指導課長
　今日の魁新報に記事がありまして、文科省の方針で「総合的な学習の時間」、３年生以上で行っているものですが、高学年では１時間程度この時間を使ってもよいといったことが示されたようです。ただ、これを本市にそのまま当てはめられるのかといったことについては現在検討中でありまして、来年度に向けて学校とも協議して良い方向に持っていきたいと思っております。

教育指導部長
　新しい学習指導要領の本格実施までの移行期間という条件もあるようですので、詳しいことにつきましては、これから検討してまいります。

吉川教育長
　いずれ、３０年度からは移行期間に入ります。こういうこともあって、今年、英語の教育アドバイザーも配置しました。その先生に小学校を全部回っていただきまして、状況把握と、この後、こういう形で教育課程を組んだらいいのではとないかといったアドバイスをいただきたいと思っております。

風登委員
　英語の授業時間を確保するというのは、かなりきつい状況にあるとは思うんですが、何かいい手立てとかありそうですか。

教育指導課長
　最初は帯状にということで、例えば、ほとんどの学校で「朝の読書」の時間を確保しています。その時間を帯状に使って１時間分を確保できないかといった試みや考え方もあるようですけれども、その「朝の読書」で落ち着いた学習のスタートを切っているといったこともあって、現在、検討中です。

風登委員
　いろいろな情報収集は、されているんですね。

教育指導課長
　そうですね。英語担当のところで行っております。

風登委員
　それから、夢の教室が５月に７校において行われていますが、これはローテーションですか。それとも、希望された学校で行っているものですか。

教育指導課長
　これまでの各校の実施状況と希望とを照らし合わせながら、学校の偏りのないように、それから分野も偏りのないようにしております。

風登委員
　前半はスポーツ、後半は図工・音楽となっているようですが、後半はどのくらいの学校になりますか。

教育指導課長
　図工が４校、音楽が小中４校ずつで、計１２校となります。

風登委員
　はい、ありがとうございます。

吉川教育長
　各校が毎年というのは厳しいことかもしれませんが、ローテーションを組んで２年に１回はいずれかの分野の教室と考えております。
　ほかにございませんか。

竹原委員
　チャレンジデーのことについてですけど、参加者のカウントの仕方はどのような方法でしょうか。以前は、農作業中に推進員みたいな方々が回ってきたりしたんですけれども、その何十パーセント参加というのをどのようにカウントするのか、教えてください。

スポーツ振興課長
　運動には、従来どおり１５分以上であれば農作業も含みます。寝たきり以外の方は、ほとんど運動しているものと思われますので、今年はいかにして報告をいただくかということに力を入れることにしております。最初は４０パーセント台から始まって５年間で１０パーセントぐらいの伸びなんですが、今年は一気に７０パーセント以上という高い目標を掲げております。
　これを達成するための報告方法について検討しております。最初は、名前、性別、年齢を書いてもらうところから始めたんですが、大型店等で記名をお願いしても、名前や年齢

を書くのに抵抗がある方もいて、なかなか成果が上がりませんでした。
　それで、個人は別にしても、団体や組織に対してはまとめた人数を報告してもらう方式にしております。大分、簡素化しております。報告方法につきましても、電子メール、ファックス、電話でも可としております。

吉川教育長
　会社とか自治会とか団体が報告してくだされば、数字も上がると思います。いずれ、昼間人口が多いところは有利ですね。
　ほかにございませんか。

工藤委員
　今回の西部学校給食センターの学校給食停止の件です。私も管内なんですが、迅速な対応だったなと思っています。連絡があってからすぐにメールが来ましたし、保護者からも特に不満の声は聞かれませんでした。子供たちから救給カレーについていろいろ話は聞きましたが、保護者の皆様には２６日の弁当の件も前日に情報がありましたので、非常に対応としては良かったんじゃないかと思います。今後ともよろしくお願いします。
　次に、生涯学習課にお尋ねします。５月２３日の家庭教育推進チーム会議の中身について教えてください。

生涯学習部長
　これは、昨年度から立ち上げたものです。以前は就学時健診などの機会に、保護者に対して家庭教育に関する関係部署がそれぞれお話をしたり悩みを聴いたりしていたんですが、今年から子ども支援課など関係部署が横断的に一つのチームを作って、保護者に対応していきましょうということで始めております。
　今はお子さんよりも、保護者の方の社会教育が大事な時期に入ってきておりまして、ＰＴＡのときでも、スマホをいじってなかなか先生のお話を聴いてもらえないといったことがあるようです。いろいろな意味で、家庭教育を大事にしていきたいと思っているところであります。

吉川教育長
　県で昨年辺りから本腰を入れておりまして、本市でも県のアドバイスを受けながらチームを作ってやりましょうということで進めております。

工藤委員
　分かりました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　次に、付議案件に入ります。
　はじめに、議案第３０号「平成２９年度大仙市一般会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課長から順に、報告をお願いいたします。

教育総務課長
　説明いたします。議案第３０号「平成２９年度大仙市一般会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。会議資料は、１０ページから１６ページまでになります。
　本案はこの補正予算案を市長が議会に提案するに当たり、教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。
　資料の１２ージを御覧ください。はじめに、今回の一般会計補正予算案の概要について、御説明申し上げます。１０款教育費の関係項目に4,478万2,000円を補正し、補正後の関係項目の合計額を42億8,174万1,000円とするものであります。
　はじめに、１項教育総務費補正額の207万7,000円の内訳でありますが、教育指導課所管のキャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費として93万円、だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費として114万7,000円となっております。
　次に、２項小学校費につきましては、教育総務課所管の校舎等維持補修及び施設整備費として藤木小学校暖房用煙突改修事業が2,446万3,000円となっております。
　次に、５項社会教育費につきましては、総合市民会館所管の大曲市民会館管理費として647万7,000円の補正となっております。
　次に、６項の保健体育費につきましては、スポーツ振興課所管のスキー場事業特別会計操出金として1,176万5,000円となっております。この操出金に伴う事業の詳細につきましては、次の議案第31号でスポーツ振興課長から御報告申し上げます。
　それでは各事業につきまして、この後、所管ごとに順に事業説明書で御説明いたします。
　はじめに、教育総務課からです。１３ページの事業説明書を御覧ください。
　事業名が校舎等維持補修及び施設整備費であります。この表の一番下の「４．Ａｃｔ改善」の欄を御覧ください。藤木小学校暖房用煙突改修事業であります。補正額は、2,446万3,000円であります。国の交付金を活用して事業を実施するため国に要望していたところですが、国の平成２９年度当初予算において、事業採択となったことから補正するものであります。
　工事概要についてですが、煙突内に石綿を含む断熱材が使用されていることから、これを除去し、新たに煙突を設置しようとするものであります。事業費の内訳でありますが、設計などの委託料204万1,000円、工事請負費2,242万2,000円となっております。財源内訳ですが、この表の一番上の財源内訳を御覧ください。国庫支出金が497万6,000円、市債が

1,850万円、残り98万7,000円が一般財源となります。
次に、改修工事が必要となった経緯について御説明いたします。「２．Ｄｏ実行」の欄を御覧ください。平成２６年度の石綿関係法令の改正により煙突内部等に使用される建材も規制対象となったことから、平成２７年度に職員による実態調査、平成２８年度には専門業者による石綿の分析等調査を実施したところです。その結果、記載の７校の煙突に石綿が含まれていることが判明し、このうち、現在、煙突を使用していない５校については、国の規則で定められている「囲い込み」対策を実施し、安全を確保しているところであります。
残りの２校、現在煙突を使用している藤木小学校と東大曲小学校については、煙突内の断熱材が劣化しておらず状態が良好であることから、今後もボイラーの使用に問題ないとの報告を専門業者から受けているところであります。しかしながら、使用中の煙突については、事故防止に万全を期すため、今般、藤木小学校の煙突の改修工事を実施するものであります。東大曲小学校については、藤木小学校よりも建築年度が新しく状態が良好であることから、来年度に実施する予定であります。
以上で、教育総務課所管分について終わります。

教育指導課長
続きまして、教育指導課所管の事業について御説明いたします。１４ページの事業説明書を御覧ください。
本事業は本市の教育の目標であります「生きる力を育み社会を支える創造力あふれる人づくり」の下、キャリア教育を推進し、総合的な学力を育成しようとするものであります。「４．Ａｃｔ」の欄を御覧ください。今回、キャリア教育の一環として学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解の推進事業の実施について、国から事業の採択を受け、事業費部分の補正をお願いしたものであります。
事業内容といたしましては、心のバリアフリー運営協議会の開催、障害者スポーツを通じた交流及び共同学習、障害者アスリートを招いての講演会、障害及び障害者理解等の取組をまとめた内容を他校で発表することなどを予定しております。
補正額は93万円で、全額国庫支出金となっております。
次に、１５ページを御覧ください。だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業についてであります。
これは神岡小学校、平和中学校において、小中連携で道徳教育推進教師による連絡協議会を中心に道徳教育の推進体制づくりや教育体験活動として資源回収活動、被災地交流活動、地域の高齢者や認定こども園の園児との交流活動等を実施いたします。
補正額は114万7,000円で、全額県支出金となります。
以上で、教育指導課所管分について終わります。

総合市民会館長
それでは、資料の１６ページを御覧願います。総合市民会館所管の補正予算案について御説明申し上げます。
このたび、大曲市民会館管理費に647万4,000円を補正し、補正後の額を1億5,830万3,000

円とするものであります。
４市民会館とも利用者の安全安心を最優先に、突発的な事態にも対応した修繕、改修を行っております。また、平成２７年度に策定した市民会館改修計画に基づいて年次計画で改修を進め、長寿命化も図っております。
大曲市民会館も平成６年５月に建築され築後２３年を経過し、施設設備の老朽化が進んでおり、これまでも利用者の安全を最優先とした改修を行ってまいりました。
このたび、ステージの屋根部分の雨漏りによりまして火災報知器が誤作動し、排煙ダンパーが開放するという事態が発生しました。今年度も大ホールでの事業が目白押しで、公演中ですとか夜間のこのような事態を避けるために緊急に改修工事をお願いするものであります。
以上で報告を終わります。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

吉川教育長
はい、ありがとうございました。教育総務課、教育指導課は国や県の事業採択を受けての補正ということであります。市民会館は雨漏りが発生したことで、緊急に補修するための補正ということであります。
ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。
確認しますが、石綿、アスベストを含んだ材料を使用している校舎があるということですが、普通であれば使用できないと思いますが、使っても良いことになっているものでしょうか。

教育総務課長
石綿を除去することが望ましいことではありますが、使用状況や劣化状況を把握した上で、石綿のばく露のおそれがない場合は使用できます。しかしながら、早い段階で除去等の対策をとることが一番だと考えております。

吉川教育長
分かりました。改めて、御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
皆様、よろしいでしょうか。本案は報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
それでは異議なしと認め、本案は報告どおり承認することとします。
次に、議案第３１号「平成２９年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第１号）案

に関する臨時代理について」を議題といたします。スポーツ振興課長、報告をお願いいたします。

スポーツ振興課長
資料は、１７ページから２０ページまでになります。議案第３１号「平成２９年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について」、御報告いたします。
なお、臨時代理した理由につきましては、前の議案と同様であります。資料の１９ページを御覧願います。
これは、市内３スキー場の索道各設備の修繕工事に係る費用1,176万5,000円の補正をお願いするものであります。
資料の２０ページ、事業説明書を御覧願います。
はじめに、事業の目的と目標ですが、地域が持つ豊かな資源と冬の利点を生かしつつ、冬季スポーツの充実と市民の健康増進に資することを目的とし、併せて、スキー場周辺の温泉や観光施設と組み合わせることにより、交流人口の拡大や経済効果を図ることを目標としております。
次に、これまでの実績と成果ですが、各スキー場の修繕工事費の推移を表にしております。過去４年間の平均額は３スキー場合わせて1,587万円程となっております。スキー場運営の中でも、特に索道については不具合や故障が大きな事故につながるため、毎年、シーズン終了後に専門業者による点検整備を行い、不具合箇所や故障箇所はシーズンオフの間に修理などを行い、更にシーズン前に再点検を行うなど常に安全を最優先に考えております。
次に、問題と課題ですが、全てのスキー場において、リフトなど機械設備の経年劣化による維持管理費の増大が懸念されます。定期点検を実施し、中・長期的な整備計画の下、深刻な故障を未然に防ぐことでコストの軽減を図り、常に安全で安心に利用できる環境の整備と運営体制を整えてまいります。
次に、今後の方向性と事業概要です。はじめに、大曲ファミリースキー場ですが、緊張ユニット修繕はリフトの搬器を回す大滑車を常に安定した緊張に調整する役割を果たす油圧緊張装置であり、油圧ポンプ及びモーターの修理となります。脱索検出装置交換はリフトのワイヤーロープが索輪から外れた際にリフトを緊急停止させる装置であり、脱索を検知する装置の交換となります。索受け装置整備工事は受索装置の索輪が摩耗したことによりワイヤーロープが外れやすくなっていることから、索輪を交換するものであります。
次に、協和スキー場ペアリフト通信ケーブル交換ですが、これは、脱索検出装置に加え、通信ケーブルが劣化により不具合を生じているため、リフト管理棟から降り場までのケーブルを交換するものであります。
次に、大台スキー場の脱索検出装置更新ですが、これは、脱索検出装置に加え、検知機から通信ケーブルへの接続線も含めて不具合を生じているため､交換するものであります。
いずれも、このまま使用した場合、シーズン途中で故障することが想定され、その損傷程度によっては長期の営業停止も考えられることから、今シーズン前の修繕工事に要する費用、３スキー場合わせて1,176万5,000円の補正をお願いするものであります。また、整

備に要する工期が約５か月となっていることから、６月補正予算に計上させていただきました。補正額1,176万5,000円の財源は、全て一般財源となります。
　以上、御報告いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吉川教育長
　シーズンが終わってから点検して不具合が見つかったということで、当初予算には間に合わなかったということであります。
　ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

風登委員
　脱索検出装置交換では３スキー場とも１２０万円程度、接続線は７０万円ぐらいということでしょうか。

スポーツ振興課長
　３スキー場それぞれ専門業者が異なります。若干の開きはありますが、脱索検出装置交換では３スキー場とも１２０万円程度と思っていただいて構わないと思います。協和スキー場、大台スキー場につきましては、それに加え接続線、更に通信ケーブルということになります。

風登委員
　接続線というのは。

スポーツ振興課長
　リフトの一番下から一番高い降り場までずっとつながっているのが通信ケーブルで、このケーブルの中に通信や電気などいろいろな線が入っています。脱索検出装置は索輪のところについているんですが、その装置とケーブルをつなぐのが接続線になります。

風登委員
　はい、ありがとうございました。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。本案は報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。
　以上で、付議案件の審議を終わります。
　次に、次第の５番その他に入らせていただきます。
　皆様から、何かございませんでしょうか。

竹原委員
　先ほどの藤木小学校に関連してです。改修に結構な金額がかかるようですが、大曲地域の学校統合については、ほとんど考えていないということでしょうか。

吉川教育長
　学校統合については、大曲地域だけではなくて大仙市全体で考える必要があると思っております。平成１９年３月に策定した指針をベースに考えておりますが、あくまでも地域の理解、同意を得てというスタンスでおります。一義的には地域からの声が上がった時点で意向調査をし、その上で可能かどうかを判断するということになります。

竹原委員
　地域からはなかなか声が上がらないと思うんですけれど、子供の減少をすごく感じて本当にいいのかなと不安に思ってしまいます。

吉川教育長
　委員の皆様の御意見も尊重して考えなければいけないんでしょうが、子供たちが減少したからすぐに統合ということではなくて、学校がこれまで培ってきたもの、それから地域における価値とか総合的に考える必要があるように思います。この人口減少が進んでいる中にあって、どんどん統合した場合、地域活性化だとか地域のコミュニティがどうなるのかといったことも総合的に考えないといけないのかなと思います。ただ、少しずつ声が上がっているところもあります。地域の意見を聴きながら、統合する場合にはどういう形がいいのか検討する必要があると思っております。

竹原委員
　学校統合の進め方と減少のバランスが取れなくなったとき、追いつかなくなるんじゃないかと心配です。

吉川教育長
　児童数、生徒数だけでいえば、旧市町村の枠を越えて統合しなければいけないような状況です。ただ、そこまで踏み入れるのかどうなのか。大仙市は面積が広くて、統合した場合の遠距離通学の問題もあります。ただ、近隣では統合したところもありますので、そうした推移も見ながら、今後、ある程度の方向性は示していかなければならないのかなと思います。

鈴木委員
　竹原委員の心配は地元にいると切実な問題で、親としてあまりにも学校が小さくなってしまうと不安もあってですね、統合してほしいと考えている方もたくさんいらっしゃるんですね。どこに言えばいいんだとか、教育委員会は何をやっているんだとかと言われるときもあるんです。統合に向けた段取りの中には、教育委員会が矢面に立たなければならないのかなと感じております。
　教育長の言われるコミュニティの問題とかいろいろありますけれども、どこかで解決しなければといけないと思います。

吉川教育長
　こちらから、一斉に安易に市民アンケートを取ったりすると誤解を招くおそれもあります。アンケート一つとっても神経を使うところもあるんですが、いずれ、いろいろな声が聞こえてきます。それを踏まえながら、教育委員会として対応していきたいと思います。

伊藤委員
　都市計画と並行して進めていく必要がありますので、単独で進めるということは無いんだろうと思います。人口動態、都市計画など総合的に動くんだろうなと思います。教育委員会だけでは、おそらく難しいだろうなと思います。
　個人的にはどちらかというと統合には反対の派です。集散型が教育上はいいのではないかと思っています。箱物を造ればいいというものではなくて、無理なんだと思うんです。広い地域ではタクシーやバスを準備してというのは大変だと思うんです。学校が点在してて何が悪いんだろうと思います。教師が回って歩くというような学習形態でもいいんだろうなと思っているぐらいです。実は、小学生は基本的に自分の家から歩いて通える距離がいいのかなと思います。私は、あまり統合を進める気持ちになれないでいます。太田地域の三つの小学校が行っているような集散型のスタイルがいいなと思っています。むしろ、望ましいのかなとも思います。中学校は別ですけれども、小学校は小さくてもいいのかなと思います。何かあるときに３校が集まったり、散ったりするスタイルが実はいいと思っていて、先生も一つの学校に勤めるのでなくて回りながらやってもいいんじゃないかと思っています。そういうのが何かいいのかなと密かに思っています。

吉川教育長
　いずれ、いろいろなものとリンクしてきます。市長のお考えもあるでしょう。いろいろな状況を把握する必要があります。ありがとうございます。よろしいでしょうか。
　ほかにございませんか。

（なし）

吉川教育長
　ないようですので、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　６月の定例会の日程についてです。６月２９日木曜日午後４時から、ここで開催したいと考えております。

吉川教育長
　次回定例会につきましては、６月２９日木曜日の午後４時から、ここで開催したいということでございます。御都合は、いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　ありがとうございます。では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。